

「ご挨拶」



牧師 金鍾権
(在日大韓基督教会・平野教会)

「水の上に投げるパン」

聖書には、少しわかりにくい表現や教えが見られることがあります。その一つが、伝道者の書（コヘレトの言葉）11章1節の言葉です。「あなたのパンを水に浮かべて流すがい。月日がたってから、それを見いだすだろう。」

この言葉は、古代の商人たちの危険な投資を例えた表現であると考えられています。しかし、クリスチャンにとってこの言葉は、投資の話ではなく、損得を考えずに施すべき善行、そして従順な信仰の良い模範として理解できます。

「水の上に投げるパン」とは、誰にも見られなくても行う善行、結果を求めない献身を意味します。社会的な立場ではなく、神の国の視点から見た場合、「損のように見える愛」も、結局は神の前で決して無駄にはならないことを教えてくれる言葉です。

「信仰によって施し、待ちなさい。神は時が来れば、その行いに対する報いを必ず与えてくださる。」

施しを行い、忍耐強く待つこと。計算しない信仰で善を行えば、神が必ず報いてくださるということです。

浪速教会の『愛の家』のすべての活動は「水の上に投げるパン」であり、金鍾賢牧師を始め浪速教会の信徒の皆さん、ボランティアの一人ひとりの祈りと労苦、汗と涙も、「水の上に投げるパン」であることを固く信じます。

詩篇 68 篇 5 節や申命記 10 章 18 節などを通して知ることのできる神の属性は、私たちに大きな慰めを与えてくれます。

「主は孤児の父、やもめの裁判者である。」この言葉は、神様が弱く孤立した人々を特別な関心と愛で守ってくださる方であることを強調しています。

イエスが「私の父は今も働いておられる。だからわたしも働くのだ」とおっしゃったのはとても有名です。その通りです。神様の心を持ち、主に見習う者たちが、今日も西成地域をはじめ大阪の暗い土地で、愛と福音と共に、水の上にパンを投げる働きをしていることを、神は決して見過ごされず、忘れるお方ではないと確信しています。浪速教会のすべての働きが主に守られ、絶望から希望を見つけ、イエスキリストの懷に抱かれる人たちがドンドン出てくることを期待し、共に祈ります。尊い働きに敬意を表します。

「ご挨拶」



牧師 金鍾賢
(在日大韓基督教会・浪速教会)

「旅人をもてなさない」

旅人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、気づかずに天使たちをもてなしました。（ヘブライ13:2）

浪速教会「愛の家」の働きが2025年も守られ、神様に感謝し、支援して下さった皆様に感謝致します。

「愛の家」は行き場を失った人と共に共同生活したことから始まりました。私と家内は野宿して病気や栄養失調になって命が危険にさらされている人を自分の部屋に迎え入れ共に生きてきました。それは神がそうせざるを得ないように導いて下さったからです。道端で出会った人、炊き出しで出会った人の中で助けないといけない状況に置かれていた人を連れて来て共に生きることにしました。

信仰の先祖アブラハムは旅人が通り過ぎようとしているのをみて家に迎え、歓待しました。知らずに旅人をもてなした事が神(天使)をもてなしたことになります。今年大阪万博が行われ、私たちはアフリカの貧しい国ギニアの女性スタッフと出会いました。彼女はギニア万博パビリオンのスタッフでしたがお金が無くて釜ヶ崎のドヤ街の旅館を借りていました。しかし盗難事故にあい、お金が無くなり途方に暮れて、私たちに助けを求めてきました。私たちは部屋を提供し食料支援など色々な相談に応じ、できる限りの支援を行ないました。それがきっかけとなりアフリカのマリ、タンザニアのスタッフ達も私たちに住宅を始め困ったことを助けてくれるようにとお願いがあり、私たちは支えあい共に生きる様になりました。万博が終わって一人のギニアの女性が国に帰りたくない、帰ったら酷い暴力(

命の危険)を受けるので日本で住みたいと切に求めてきました。私たちは彼女を応援し難民申請を手伝い彼女が幸せに生きることを願い、いま家族として共に助け合って生きています。

私たち「愛の家」は神に導かれて様々な理由で生き詰まっている人に寄り添い共に生きようとしています。刑務所から出所した人、アルコールやギャンブル、薬物依存症の人、急に離婚され家族から見捨てられている人を受け入れ共に生きております。私たちが、助けを必要とする人々と共に歩もうとしているのは、それが主の導きであり、旅人(寄留者、ゲール)に仕えることは、神に仕えることだと信じているからです。「最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」と語られたイエス様のお言葉を心に刻み、神に導かれて生きて働く「愛の家」であり続けたいと願っています。



宣教チーム・お客様の訪問

今年は多くの方や宣教チームが浪速教会「愛の家」を訪問してくださり、とても賑やかで活気のある半年を過ごしました。韓国から権レア牧師、李玉姫牧師（インド宣教師）、安山第一教会宣教チーム、韓神大学神学大学院実習生チーム、教会で宿泊しながら奉仕している金楨敏（Kim Jongmin）さんと姜尹石（Kang Eun-sik）さんのご両親や教会の方々、ヨンウイ宣教チームが2回、そして過去に宣教チームとして訪問した事のある青年たちが成人して、親子で、また新しい家族と共に、またある青年は牧師になって宣教チームを率いて再び来てくださいました。そしてまた、他のページにも記載していますが、関西大阪万博のために来日されているアフリカの3か国の方々が日々教会を訪ねて時間を共に過ごしています。神様の不思議なご計画の中で、様々な方々の新しい刺激や励ましによって、活気ある活動が続けられていることを心から感謝しています。国内からも私達を覚えて訪ねてきてくださる方、ご連絡くださる方、ご奉仕して下さる方、ご支援くださる方がおられ、感謝でいっぱいの毎日です。心より「ありがとうございます」。

創立28周年記念主日礼拝

創立記念主日に特別賛美ゲストとして徐ソングョン執事任（KCCJ 大阪教会）の証と賛美を通して共に礼拝をお捧げしました。身も心も弱っている時に、賛美を通して主の臨在に触れ、感謝が溢れ出てくるという証を聞き、「私達は一人ではない、主が共におられる。そして神の家族という仲間、信仰の同志が共にいる」という事を改めて心に刻み、大きな励ましを受けました。



木曜伝道集会、金曜炊き出し

皆様の御支援のおかげで、今年も木曜伝道集会を毎週続けることができ本当に感謝いたします。今回は週替わり浪速定食の写真を掲載いたします。



新メンバーの
姜尹石さん



威美羅牧師(布施教会)

金曜炊き出しでおいぎりとおみそ汁を配ると同時に、6月に夏服、10月に冬服を配りました。全国から送っていただいた衣類や生活用品、靴・靴下・靴・肌着・タオル・帽子・マフラー・手袋・ベルト・スーツケース、ホテルの歯ブラシセット、ホッカイロ・寝袋・ティッシュ・・・様々な物を提供することができました。参加者のみなさまに必要な物品が行き届いて安心しています。また配布日には韓国の宣教チームや日本からも数人が手伝いに駆け付けてくださり、心より感謝いたします！



衣類・日用品配り

イースター洗礼と洗礼者教育

4月には2人の兄弟が洗礼を受けました。大木敏昭兄弟（82才）と原野光治兄弟（67才）です。お二人とも体に弱さを抱えていますが、この日を迎えて溢れる喜びは、写真からも十分に伝わってきます。8月～11月まで聖書勉強会が開かれ、求道中の方が2人を含み、全部で8人前後が参加しました。途中で教会から離れていた放蕩息子の宮下兄弟が心を入れ替えて帰ってきて、聖書勉強会にも熱心に参加した事に感動を覚えます。



奉仕者の声

『 刺激的な教会 』

金 楨敏 (キム・ジョンミン) 兄弟
(在日大韓基督教会 浪速教会)

私はワーキングホリデーを利用して来日しました。幼少期から日本のアニメやドラマを見て育ち、一度は日本に住んでみたいと考えていました。金鐘賢先生のお父さんが韓国で牧会をされていた時、私の祖父母がその教会に所属して長老として務めていました。その繋がりから、浪速教会に挨拶に来ました。その時、住居が決まっていない状況で、申し訳ないけれど教会に宿泊させてもらいながら住居探しをさせてもらえることになりました。そこから、せっかく浪速教会にいるんだからと時間がある時に奉仕をしたり、教会が兼業する(株)アットホームナニワの住宅をリフォームする仕事をアルバイトとして手伝ったりするようになりました。そのままずるずると今に至ります。

いざ、日本に住んでみて正直な感想は、私は大阪は嫌いです。暑すぎます。私は自然破壊をなるべく避けたいので、暑い夏でも自分一人の時はエアコンを使わないようにしています。だからこそ余計に大阪の暑さが身に応えます。大阪は苦手、、、でも、浪速教会が大好きです。



毎日色々な人が出入りして、毎日何かが起こります。退屈はしないです。以前から浪速教会はホームレスの人々のために頑張っている教会だと母から聞いていました。私が韓国にいた頃は小さい教会が好きでした。一般とは少し風変わりな人だったり、自殺を考える人だったり、この世から捨てられた人たちが集まれる教会だけ

からです。大きい教会ではそのような人たちは来る事を断られます。もちろん、私自身も変な人だから、その集まりに似合うのかもしれませんが。韓国にいた頃はカトリック教会で洗礼を受けるつもりでいました。信仰が強いと「どれだけ祈っても叶えられないものは叶えられない」と受け入れる事ができます。信仰が弱いと「イエスの十字架」「水の上を歩く」等々を信じる事ができません。私は信仰が弱いので、クリスチャンは馬鹿だと思いう時期もありました。でも、その人達のおかげ、もっと言えば「神の教えに従う人たちののおかげ」で世界が少しずつ美しくな



っているんだと理解することができました。それが宗教の力だと思いました。韓国ではただ教会に通うだけの人が多いように感じていました。今、大阪にいて、浪速教会のミ

ニストリーの奉仕をしながら、毎日が新しく刺激的で学び続けています。

木曜伝道集会と配食、金曜炊き出しにも色々な人たちが集っています。その多くは何らかの中毒症の人たちです。その人々の人生はどのようなものかと考えます。でも100%理解はできません。彼らの気持ちも理解できません。時には、私が一生懸命働いて税金を納めているのに、彼らの中にはその税金を生活保護費として受け取り、お酒や他の娯楽に使い込んでいる人達もいる、それを考えるととても腹が立つこともあります。でも、「怒ったり、嫌ったりする資格が自分にあるのか？」という疑問も浮かびます。きっと浪速教会の人たちや支援者のみなさんの中にもそのような葛藤を持っている人もいらっしゃると思います。

毎日色々な事件が起こる、毎日が新しい浪速教会、ぜひ続けてください。いつかは神様の答えが来ると信じています。世の人々に無駄だと評価されても「続けてください」と私は願っています。



【特集】「愛の家」の恩人⑱

ホンヘシン ヌンゴ
洪恵信 勸士（韓国 陵谷教会）

洪恵信勸士任（以降は「洪姉妹」と略）は 50 年前から知っていた方でした。私の父が韓国郡山元堂教会で牧会をしていた時、洪姉妹のお父さんが教会の長老でしたので同じ教会で交わり教会生活を過ごしました。洪姉妹は私より 3 歳上で教会のお姉ちゃんでした。それから彼女はソウルにて就職し、私はソウルの韓国神学大学に入り、たまに会いました。それから互いに生きるのに忙しくて連絡が無かったです。

2023 年 6 月洪姉妹から連絡があり、久しぶりに話し合い繋がるようになりました。洪姉妹は息子さん金楨敏（ジョンミン）君と共に大阪で行われるセミナーに参加するため大阪に来られ、関西空港で会いました。その時久しぶりに会って私は驚きました。洪姉妹は私たち浪速教会の働きを覚え各種の衣類や食料品、キムチなど車一台分のプレゼントを持ってきて支援金と共に与えてくれました。私は長い間連絡も無く私たち浪速教会「愛の家」の働きも知らないのに予想外の支援をいただき、励まされ感謝が溢れました。

それから度々来られる事になり、来られる度に韓国でおいしいキムチを作り持って来られ、変わりなく多くの支援物を持って来られました。

それから 2024 年 8 月から息子さん金楨敏君がワーキングホリデーで大阪に来て働くことになり、洪姉妹はご夫妻で来られ交わりを深めるようになりました。最近では韓国の友人達を連れて来て私たちの炊き出しの奉仕をして下さり、私たちの働きを多くの韓国の人たちに知って貰うようにしています。洪姉妹の願いは私たちのスタッフを慰め励ましてあげるために韓国に招いて韓国旅行をさせる事です。

今現在、洪姉妹の息子さん金楨敏君は浪速教会のゲストルームに泊まり私たちの福祉住宅のリフォーム工を手伝い、教会の掃除や奉仕活動を共にしております。若者がいない私たちの教会に大きな力になります。信徒たちは彼を「ミン君」と呼びみんなに愛される人気者になっております。今年はミン君が率先して高い所に上りクリスマスの屋外ツリーのイルミネーションを飾ってくれて、アドベント（待降節）を迎える前に近所の人々に世の光として来られたイエス・キリストのお誕生日を知らせるようになりました。ミン君が日本で結婚して働くことを願って祈り求めています。

「愛の家」会計中間報告書(2025.1-10.31)

収入	25 予算	2025.1-10
定期後援会	1,000,000	1,006,000
一般後援会	1,600,000	1,621,501
クリスマス献金	500,000	971,892
食事献金	0	0
総会支援金	200,000	200,000
地方会支援金	420,000	280,000
御米献金	150,000	67,000
小計	3,870,000	4,146,393
繰越金	422,981	422,981
合計	4,292,981	4,569,374

支出	25 予算	2025.1-10
事務・備品・印刷費	220,000	187,694
発送費	100,000	44,300
交通費	50,000	15,520
車両維持費	200,000	177,886
奉仕者支援金	700,000	953,246
研修費	200,000	0
御米代	500,000	765,631
副食費	1,500,000	1,622,327
建築積立金	1,500,000	200,000
救済費	300,000	8,610
修理施設費・予備費	522,981	29,728
小計	4,292,981	4,004,942
繰越金		564,432
合計	4,292,981	4,569,374



姜貞淑師母、洪恵信勸士、李香蘭勸士

（浪速教会、韓国 陵谷教会、東南キリスト教会）





生活困窮者支援のための クリスマス献金のお願い



御子イエスのお誕生を待ち望む季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

この一年も主の御守りと導きにより、浪速教会「愛の家」は皆様からの多くの愛を受け、またその愛を分かち合う活動ができましたことを心より感謝申し上げます。今年の大阪は異例の年でした。万博開催により4月以降、街が一変しました。どこを見ても万博のキャラクターである『ミャクミャク』のキーホルダーを付けている人やグッズを持ち歩いている人を見かけました。また、外国人が非常に増えました。西成区のドヤを改装した格安ホテルや民泊には東南アジアやアフリカから万博パビリオンに出店の手伝いをしに来ている人達が沢山宿泊していました。私達浪速教会の兄弟姉妹たちは万博に行く費用もないので、いつもテレビで観ては話題にしていました。しかし、不思議な神様の導きで、その万博の為に来日しているアフリカのギニア人女性と親しくなりました。彼女は滞在していた格安ホテルで留守中に所持金すべてを盗まれました。また、その格安ホテルはトイレもシャワー室も男女共同だそうです。その話を聞いた浪速教会のある兄弟が、彼女を安全な私達の管理物件に避難させたいという事でした。ほんの1か月半ほどでしたが、彼女との交流を通して浪速教会にも万博ムードが広がり始めました。その後、ギニアの隣国のマリやタンザニアの人々からもSOS要請があり、フランス語圏の彼らを手助けしたり、コミュニケーションを取るにも携帯電話の翻訳アプリを通してという時間も労力もかかりましたが、日々必要に応じて助け合うことができていることに感謝しています。彼らの中にも生活困窮者がいらっしまったので、部屋貸しの他に食べ物や生活用品を分かち合う事が出来ました。主の備えに感謝いたします。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に2回行っております。金曜炊き出しには毎回約150人～200人、木曜集会にも常時80人近くの路上生活者や失業者の方々が温かい食事を求めて並べられます。炊き出しの実際の経費として、毎週57,000円を支出しております。(お米50kg・40,000円、副食費45,000円、合計85,000円)

罪と弱さの暗闇の中に希望の光なる赤ちゃんとして私たちのもとへとおいでくださった主イエス様のお誕生を喜ぶこのとき。路上生活や家族がいない一人暮らしを強いられる方々に、御子イエスのお誕生の喜びと愛と希望を届けることができますように、クリスマス献金のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2025年度 献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、 定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、靴、靴下、下着、靴、タオル、ホッカイロ、
食材、お米を送って下さい(スーツ類は需要が少なくなっています)

献金振込先(ゆうちょ銀行)

郵便振替：00930-0-299392 口座名：在日大韓基督教会浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

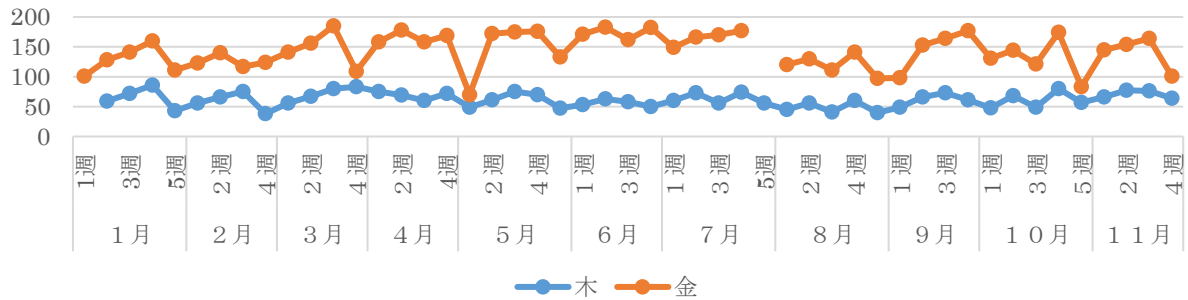
E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2025年12月

在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

金 鐘 賢 牧師

2025年1～10月参加した人数



献金者お名前(敬称略・順不同)

(2025年3月1日～2024年10月31日)

定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ 大阪淡路チャペル・洲本チャペル、大阪東南キリスト教会、在日大韓基督教会 関西地方会、豊中第一復興教会、重松絢子、金栄吉・李香蘭、金鐘賢・姜貞淑、大木正典、金英姫・森元孝、市川和俊、平野竜一・真希、朴栄子、白石亮、匿名

一般後援金

豊橋教会、グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、救霊会館、韓国の支援者の皆様、安山第一教会宣教チーム、河内常男、木村敏子、重松絢子、林賛浩、平島敬二、野津道代、奏玉子、森田幸男、孝子、炊き出し参加者、匿名

イースター献金

南浦和教会、東京教会、重松貿易(株)

クリスマス献金

名古屋教会女性会

お米、お米献金

洲本チャペル、西宮教会、井上久夫、宮澤玲子、梁漢順、西脇洋子、匿名

食材

フードバンク大阪、フードバンク関西、コープ神戸、国際飢餓対策機構、伊藤まさみ、河内常男、清水真一、洪恵信、鄭敏熙、教会前にスーツケースに物品を入れて置いてくださる方

アルミ缶献金

「愛の家」に通う兄弟たち、北津守町有志

衣類、靴、鞆、生活用品、ふとん類、マスク、家具

グッド・サマリタン・チャーチ、松井明美、韓国宣教チーム、教会前にスーツケースに物品を入れて置いてくださる方、匿名

「愛の家」の人々

「愛の家」はいわゆる「一般社会」とそこでは生きづらい人々との間に立ち、共に助け合い、時には愛の叱咤激励をしながら過ごす神の家となっています。活動する私たちの概念をも遥かに超えて、色々な価値観の人々が集い、共に過ごすようになっています。いわゆる「一般社会」では規律を守り、礼儀を怠らず、勤勉でいる事等々を理解し守ることが出来る人々が生きていけます。しかし、一度、知的障害、認知の歪み、心の病を持ったり、働けなくなったり、人には言えない事をもったりすると生きづらくなる。また、自分自身では変える事の出来ない悪い癖をもっていると、家族からも「迷惑だ」と離縁される。「分かつちやいるけどやめられない」、うつ病の人は「分かつちやいるけどうごけない」。実はそれらの弱さは大なり小なり誰にでも持ち合わせています。しかし、当事者にならないと理解することはできないのも人間の弱さであり、葛藤を覚えます。イエス様はそのような心の苦しみ、辛さ、寂しさを抱えている人々の希望の光となられるために来られた、「主よ、私の主よ、私達の主よ、来てくださりありがとうございます。この世に生きる時、私達(彼ら)をあなたでやさしく包んで守り導いてください。」待降節のこの時期、その祈りと賛美が自然と生まれる「愛の家」であります。



発行責任者 金鐘賢
〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会
00930-0-299392